

細谷小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・地域の自然、人、ものと親しみ、地域の環境を大切にできる子の育成を旨とする。
- ・地域に興味をもてるように生活科や総合的な学習の時間を中心に教育課程を工夫し、子どもの意識の流れに沿って体験活動や調べ学習を継続的に組み込むことで、「ふるさと細谷」を愛する心が生まれ、「大好きだよ！緑いっぱいの細谷」と言える子を育てる。

・活動の実際

① 自然や命を見つめる活動（全校）

毎年4月に、縦割り活動で細谷海岸クリーン活動と縦割り班対抗海岸レクリエーションを行う。海での活動は子どもたちにとって、細谷ならではの自然に親しむ貴重な機会となっている。6月には、細谷いのちのプロジェクトの一環として、授業参観で「いのち」に関する授業を実施し、保護者と一緒に命について考えることができた。10月には、校区合同防災訓練を行い、自家発電装置の使い方や簡易トイレの設営の仕方などを実践的に学んだ。防災危機管理課のかたから地震が起きて数時間後、数日後、数か月後で必要となる支援が違ってくるといった興味深い講話を聞き、子どもたちなりにいろいろなことを想像し、考えさせられた様子だった。



校区合同防災訓練



海岸清掃

② ふるさと細谷の教育ボランティアを活かした食農教育活動（全校）

学校農園で、地域の農園ボランティアのかたの協力を得て年に2回野菜を育てる。一人一種類自分が育てたい野菜を選ぶので、主体的に子どもたちは育て方や世話の仕方を調べ、収穫まで意欲をもって活動できている。去年うまく育てられなかったから今年もう一度同じ野菜にチャレンジしたり、同じ野菜を育てる子どうしで協力したり情報交換したりする姿が見られた。

5年生は地域のかたから田んぼを借りて、総合的な学習として稲作に取り組んでいる。はさがけや脱穀などの作業を老人会のかたに教えてもらいながら行い、米作りの作業が終わると老人会のかたを招いて感謝の会を開いた。交流しながらお礼を伝えることで地域のかたとのつながりをもてるようになっている。

また、地域のかたから畑を借りて全校でサツマイモの栽培を行っている。6月に縦割り班でいものつるを植え、12月にPTAのかたに協力していただき「やきいもの会」を開いた。子どもたちは関わってくださったかたに感謝しながら、焼きいもを縦割り班でなかよく食べていた。



冬野菜の植え付け（4年）



老人会のかたと脱穀（5年）



やきいもの会（全校）